

科目区分	基礎科目	科目名	生活とアート		科目コード	18Y110	担当者	昆 正子、織田 芳人				
対象学生	幼児教育学科 1年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	複数				
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択必修				
							免許・資格要件					
科目の主題							学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
美術における表現の喜びや感動を学ぶ							1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 創造 」 高度な知性と創造力		3. 「 実践 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標							① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表思考・批判造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	人間にとっての美術の意義を説明できる						○	○	○	◎	○	
2.	美術に関する基礎的な知識を身につけ、美術作品を読み解く能力を養う											
3.	自由な発想と多様な表現方法により、表現活動を行うことができる											
4.												
5.							成績評価の方法と割合					
授業方法							臨時試験（40%） 提出物（40%） 受講態度（20%）					
表現と鑑賞の相互関係を基にし、時に実技を絡めながらの講義形式で行う。 知識の定着と理解向上のため、スライド・映像視聴のほか、授業内でプリントを配布する。 また中間期で臨時試験を実施する。												
準備学修							課題等への対応					
美術に関心を持ち、楽しみながら学ぶ習慣を日頃から身につけておくこと。 授業の中で適宜、具体的な内容について指示する。 美術の基礎知識を身につけるため、予習・復習には年間15時間を確保してほしい。 また、制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために時間外での制作を必要とする場合がある。							臨時試験については回収後全員で解答確認を行う。 レポートは内容確認後、後日授業内で学生に返却する。 制作後は極力鑑賞の時間を設け、作品は後日学生に返却する。					
授業計画												
第1回	オリエンテーション（授業の説明）〔担当：昆〕											
第2回	美術の鑑賞①古代ギリシャ～中世〔担当：昆〕											
第3回	美術の鑑賞②ルネサンス期の芸術家たち〔担当：昆〕											
第4回	美術の鑑賞③バロック期の芸術家たち〔担当：昆〕											
第5回	美術の鑑賞④ロココから近代にかけての芸術家たち〔担当：昆〕											
第6回	美術の鑑賞⑤19世紀の芸術家たち〔担当：織田〕											
第7回	美術の基礎知識を確認する（臨時試験）〔担当：昆、織田〕											
第8回	美術の鑑賞⑥20世紀の芸術家たち〔担当：織田〕											
第9回	アートと錯視〔担当：織田〕											
第10回	アートとデザイン〔担当：織田〕											
第11回	ポップアップカード1〔担当：織田〕											
第12回	ポップアップカード2〔担当：織田〕											
第13回	自己治癒力を引き出すアートセラピー1〔担当：昆〕											
第14回	自己治癒力を引き出すアートセラピー2〔担当：昆〕											
第15回	くらしのなかのアート（意義と役割）〔担当：昆、織田〕											
試験	定期試験を実施しない											
教科書	なし				受講生へのメッセージ	問題意識をもって受講してほしい。 材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。 実技回では教室を変更する。その際事前に口頭あるいは掲示板上にて連絡するため、各自確認しておくこと。 県内の美術館や博物館で見学会を実施する場合は、授業を土曜日または日曜日に振り替えて実施する（現地集合）						
参考書等	適宜授業内で紹介する											